

総務文教常任委員会記録

令和4年6月17日

【開催日】 令和4年6月17日（金）

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前10時～午前11時

【出席委員】

委員長	長谷川 知 司	副委員長	宮 本 政 志
委員	伊 場 勇	委員	岡 山 明
委員	笹 木 慶 之	委員	古 豊 和 恵
委員	前 田 浩 司		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	高 松 秀 樹		
----	---------	--	--

【執行部出席者】

総務部長	川 地 諭	総務課長	河 田 圭 司
総務課課長補佐兼総務係長	奥 田 孝 則	総務課総務係主任	田 島 正 秀

【事務局出席者】

事務局長	河 口 修 司	庶務調査係長	田 中 洋 子
------	---------	--------	---------

【審査内容】

- 1 議案第47号 物品の購入について（総務）
- 2 閉会中の調査事項について

午前10時 開会

長谷川知司委員長 おはようございます。ただいまから、総務文教常任委員会を開催いたします。本日の付議事項は、お手元にあります審査内容のとおりであります。最初に、議案第47号物品の購入について、執行部からの説明を求めます。

河田総務課長 本日は、追加で提出させていただきました議案の審査のため、

お時間を頂きまして、ありがとうございます。それでは、議案第47号物品の購入について御説明します。市役所本庁舎は、耐震補強工事を終え、現在は環境改善事業に取り組んでいるところですが、外壁改修工事の完了が近づく中で、今後は、今年度から来年度にかけて、老朽化した内装や空調の工事を予定しております。この度の議案は、この内装改修工事に併せて、職員の執務環境の改善及び来庁者の利便性向上を目的として、老朽化したキャビネット等を更新し、新たに整備する打合せスペースの会議テーブル等を購入するものです。この業者の選定に当たりましては、庁舎の執務レイアウトの変更、庁内案内などのサインの見直し、備品の更新、業務を継続しながらエリアごとに何回にも分けて執務スペースを移転することなど、密接に関連した業務を並行してスケジュール調整を行いながら遂行していただく必要があることから、高度な専門的知識及び豊富な経験が求められます。そこで、今回はこうした一連の業務を円滑に実施することができるよう、業務一式をまとめて公募型プロポーザルにより業者選定を行いました。今年度当初から山陽小野田市役所本庁舎レイアウト整備業務公募型プロポーザル審査委員会を設置してプロポーザル手続を開始し、4月6日から参加事業者を募集したところ、3者から参加申込みがありました。これを受けて、5月19日に審査委員会にてプロポーザル審査を行いました結果、株式会社オカムラ広島支店が最高得点提案者となりましたので、同社と仮契約に向けた協議を行ってまいりました。当初は市議会6月定例会における本会議初日に議案の提出を目指しておりましたが、業者との協議を慎重に進めていたことから、仮契約に至るまで当初の想定以上に時間を要したため、やむを得ず会期中途に追加で議案を提出させていただくこととなりました。備品に係る購入価格が3,498万円となり、2,000万円以上となることから、山陽小野田市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に基づき、議会の議決をお願いするものです。なお、備品の内容につきましては、お手元にお配りしております資料1を御覧ください。こちらは、購入する物品の明細です。主には打合せスペースの椅子や会議テーブル、執務スペースの書類を保管するためのキ

ヤビネットとなっております。これらの備品のイメージにつきましては、1枚めくっていただきまして、資料2及び裏面の資料3のカタログ写真を参考にいただければと思います。御説明は以上となります。御審査のほどよろしく申し上げます。

長谷川知司委員長 執行部からの説明が終わりました。今日の資料はこれだけですか。プロポーザルを行ったことに対する審査の経過とか、あるいは今ホームページには出されていると思うんですけど、そういうものは準備していないですか。

河田総務課長 審査表等御用意しておりますので、配付させていただきます。少々お時間を頂けますでしょうか。御用意いたします。

長谷川知司委員長 はい、申し上げます。ちょっと暫時休憩します。

午前10時6分 休憩

午前10時8分 再開

長谷川知司委員長 では、暫時休憩を解きまして委員会を再開いたします。ただいま、必要な資料の打合せを終わりましたので、それ以外で皆様方から質疑を受けたいと思います。

前田浩司委員 手元に本年度令和4年の予算書を用意しておるんですけども、2款総務費の1項総務管理費の31日本庁舎改修事業費の中に、備品購入費という項目がありまして、金額で言いますと2,702万7,000円と計上されておりますけれども、本件の事業については、これと関連することになるのでしょうか。

奥田総務課課長補佐兼総務係長 ただいま委員御指摘の予算書2,702万7,

000円に含まれているものになります。この内訳といたしましては、2,702万7,000円のうち、2,600万2,000円がこちらの備品購入の予算となっております。

前田浩司委員 内訳の話がありまして、2,600万2,000円が、今回提出された備品の費用に当たるということなんですけれども、金額的にかなり差があるように思えます。その辺は執行部として、どのようなお考えがあるのか、お答えいただけますか。

奥田総務課課長補佐兼総務係長 予算との差があるという御指摘ですが、予算額2,600万2,000円に対しまして、この度の備品の購入契約金額は3,498万円となっております。こちらの3,498万円は、令和4年度から5年度にかけての2年間の備品の契約となっております、この内訳といたしまして、令和4年度分の備品購入費は1,512万5,000円となっております。

前田浩司委員 続いて、今回公募型のプロポーザルという形で、先ほど4月1日から業者の選定を開始されて、スケジュール的に、今回の6月の定例会に間に合わなくて追加という形になっておるということなんですけれども、何となくこう取り急ぎで、こういった動きを取られたように思えます。もともとプロポーザルをする予定が当初からあったのか、ちょっとその辺の動きというか、状況の説明をお願いできますか。

河田総務課長 こちらの事業の遂行に当たりましては、もう当初から公募型のプロポーザルということで考えておりました。監理室で示されておりますガイドラインに従ったスケジュールの設定をしておりましたけれども、やはり最終的に業者と協議を進めていきます中で、やはり入札と違いまして、備品につきましても様々なものがあるということで、最終的な調整に時間を要したというところです。

長谷川知司委員長 今回の関連で、様々なことで調整というのがあるんですけど、確かにそれは要ると思いますが、具体的に言えるものがあれば、どういうものに調整を要したか、教えてください。

河田総務課長 資料でもお配りしておりますけれども、備品の性質が、例えば資料2のところの待合の椅子などにつきましても、単に3人掛けの椅子ということでの入札等が難しいものがありますので、設置するスペースにどのようなものを置くか、占める面積がどうか、私どもの考えと業者の提案の中で、どのぐらいに収めるか、そういったところの調整等も考えていく必要があったということで御理解いただければと思います。

笹木慶之委員 もう一つ、基本的なものをお尋ねしますが、資料の中で、整備する数が書いてありますよね。どの部分が何個増えたのかが、この表では読み取れないんです。いわゆる備品が増加していると思うんですよ。しないとできないということですね。その辺は、資料1で説明できますか。

長谷川知司委員長 この数字の増減ですね。

奥田総務課課長補佐兼総務係長 ただいま、資料1の備品の数ですが、一応こちらのほうが契約に入れている総数ということで挙げさせていただきました。どちらの部署の数が何個増えるかということにつきましては、今回議案に上げておりません。業務委託契約のほうで、今後調査に入っていきます。また先ほど課長が御説明しました気積等も踏まえて調査しまして、再度置く位置についても調査する予定となっております。こちらの調査結果をもって、初めて部署に配置する予定としておりますので、現段階ではちょっとどこの部署に何個置いて、何個増ということがお示しできない状況です。

笹木慶之委員 そうすると購入備品リストというのは、これは、契約……これ何を基にしているんですか。実際購入する額が違うんですか。

河田総務課長 すみません、御説明でちょっと分かりづらい点がありました。

こちらの数ですけれども、基本的にはこちらの数量で購入を予定しております。万一、今後調査をする中で不具合等がありましたらまた別途対応するということですが、基本的にはこちらの数量で調達するものです。

笹木慶之委員 そうすると、契約金額は、追加もあるし減少もあり得るということですか。

河田総務課長 基本的にはこちらの数量になりますけれども、調査を進めていく中で、更新がどうしても必要なものが新たに生じた場合には、また別途備品の購入ということをして、本件以外の手続の中で進めるといったことも考えております。

笹木慶之委員 別途というのは、この業者ということではなしに、別だてで購入するという手法ですか。

河田総務課長 この度移転等に伴って生ずるものですので、改修等、影響しないスペース等につきましては、別途入札という手法で、備品を調達するという点を考えております。

岡山明委員 使用年月というとおかしいんですけど、これは何か、市として備品の寿命というか、使用期限のリストみたいなものとか、基準にしているようなものが何かあるんですか。

河田総務課長 備品は、備品台帳で購入した日付等を管理しております。一般的な税法上の耐用年数とかの考え方もありますけれども、もう既に使用上、開けるときにゆがんで開かないとか、そのぐらい老朽しているということで、使用に耐えかねるようなものを更新したいと考えております。

岡山明委員 使用に際して不具合が出た場合には、当然交換なんでしょうけど、基本的に備品の使用年月日というような基準はないんですか。

河田総務課長 一律何年で更新ということは、民間企業でしたら償却資産ということでお考えのところもありますけれども、市としましては、できるだけ長く使うことを前提に考えております。

岡山明委員 もう一つ、職員の執務環境改善と来庁者の利便性向上という説明は昨日受けましたので、その前に、職員の執務環境改善という表現が出とるんですけど、職員の机とか椅子を見ると、壊れているわけではないけれども、あんまり良くないですよ。1階、2階にいらっしゃる職員にとって、問題があるような備品があると思います。それは、今回この中には入っていないですけど、今図面を見ると、机や椅子の更新が入っていないような感じがします。そういう環境職員の環境整備のための備品は入っていないんですか。

河田総務課長 今回の整備はキャビネットということで、まず書類の保管状況を整理して、職員の執務スペースを広げていこうという考えです。職員の机と椅子については、確かに老朽化をしておりますけれども、今回は含まれておりません。

岡山明委員 今回の事業の中には、職員の執務環境という表現で書いているけど、実際には机や椅子などの備品、個人的な職員の環境に対する配慮は、今回はないという状況ですね。

河田総務課長 いわゆる事務机、椅子そのものを更新するという備品の購入は入っておりませんが、やはり机の上に書類を置かざるを得ないという状況の部署、書類の多い部署はあります。そういったところの書類を適切に保管することで、職務スペース、机を広く使えるようにという方向性を考えております。

岡山明委員 机や椅子はないけど、職務に関わるようなキャビネットは交換するというのでいいですね。

河田総務課長 そのとおりです。

笹木慶之委員 関連しますから、当然質問していいと思って質問するんですが、来庁者の利便性向上を目的としてというところですよ。利便性の向上にはハード面とソフト面があると思うんですが、これは特にハード面の部分ということだけど、当然それを配置するには、ソフトを想定した上でのものであると思うんです。私は、以前ワンストップサービスの話を質問しました。そのときの回答が、当時の状況ではフロアが狭いからできないという話がありましたが、これを見るとかなり各課の配置も変えて、そういった体制が取れるように判断するんですが、その点を含めて検討しておられると理解していいのでしょうか。

河田総務課長 来庁された方の利便性の向上ということで、来庁された方との打合せの椅子とテーブルを御用意します。これはもちろん待合に使っていただくということだけではなくて、将来的に、例えば、民間企業ではもう使っておられますが、タブレット端末を活用して、職員が来庁者の方のところに出向いて、操作をしてワンストップサービスを行うといったこともできるようなことも念頭に置いたテーブルと椅子というところで考えております。

伊場勇委員 この度、プロポーザル方式が使われたんですけど、その理由を教えてください。

河田総務課長 プロポーザルを採用しました理由ですけれども、今回、議案として上げさせていただいておりますのは、備品の購入でございますけれども、備品も、どの部署にどういった形状のものをどれだけ置くかとい

うところ、これがつまるところ、部署を分けて内装改修工事を段階的に実施するというところがあります。移転しながら、それも各部署が何回かに分けて移転しながらというところがありますので、そのスケジュールを立てていただくこと、それから、実際の移転作業、計画を組んで実施していただくこと、あわせて適切なタイミングで備品を納めていただき、撤去していただく、こういった一連の流れを円滑に行っていただくために、こういったノウハウがあるか、これまでの実績があるか、提案力があるか、そういったところを総合的に判断する必要があると考えましたので、プロポーザルの方式により業者を選定することとしました。

伊場勇委員　なので、備品を入れるタイミングだったりとか、例えば備品を動かしたりする場合もあるんですかね。そういうところのしっかりしたスケジュール計画が必要だったから、今回プロポーザルでこちらの要望を出して、提案をしていただいた中から選んだということなので、プロポーザルにしたということですね。（「はい」と呼ぶ者あり）分かりました。株式会社オカムラ広島支店が特定者になられているわけですが、市内業者じゃないですよ。例えばほかのA社、B社というのは、言えるか言えないか分かりませんが、市内業者だったんですか、どうなんですか。

河田総務課長　やはり専門性があるということで、どうしてもなかなか市内業者の方では難しいだろうという想定はありました。ですので、この度プロポーザルの要件としまして、市内の事業者を協力事業者として付けていただくということを要件としておりますので、この3者とも市内の業者を協力事業者として設定して御提案いただいております。

伊場勇委員　でしたら、もう株式会社オカムラ広島支店以外にも、市内業者が、このA社もB社も協力会社として付いていたということですね。（「はい」と呼ぶ者あり）分かりました。それについて、今プロポーザルの審査項目、配点が10点、10点、50点、10点、5点、15点の合計

100点と書いているんですけども、この総得点が411点となっていますよね。これ、どういうふうに見たらいいのかなと思うんです。この内容は、LABVのプロポーザルとは多分種類が違うから公表できないとかというところになるんですけども、じゃあ、聞き方として、A社とB社と比べて、どういった点が優れていたんですか。

長谷川知司委員長 最初に審査員の数と言ってから言ってください。

河田総務課長 審査員は8人で審査を行いました。審査員は8人いらっしゃいましたが、最終審査を行う会議は、7人で審査を行いました。1名、公務のため欠席でした。

長谷川知司委員長 最高点と最低点は外すということをされていますか。それを確認します。

河田総務課長 恣意的な採点を避けるということで、この度も最高得点と最低得点につきましては、除外という扱いを行っております。

長谷川知司委員長 そういう採点をされて、総得点としているということですね。じゃあ、そこで回答してください。

河田総務課長 評価項目と業者ごとの差ですけれども、実績等につきましては事前に提出いただいた業務実績に基づいて、回数に応じて段階分けして点数を付けております。これは、もう書面上の審査ということで定性的な数字で評価をしております。それから企画提案としましては、それぞれ評価項目を詳細に分けて、審査委員に選定していただいたところです。やはり提案された内容に応じまして、各社で差が付くところです。例えば、庁舎のサイン整備についての提案において、各社で違いがあったかとか、移転の計画について具体的な提案がどうであったかとか、移転業務の遂行に当たって具体的な注意点とか、詳細にわたっての提案が

なされたかとか、そういった辺りでやはり各社それぞれ提案に差がございましたので、その辺りの点数はどうしても差が付いておるところがあります。（「重視したということやな」と呼ぶ者あり）

伊場勇委員　こちらから、スケジュールや、してほしいその計画を提示してるわけですね。それにどの程度応えられるかという感じだったのかなというふうに今理解したんですけども、あと、この411点がどういった配点なのかというのも、やっぱり審査する上で知りたいなと思うんですけど、それは出せないんですか。

河田総務課長　ガイドラインに従って、公表したものは総合計点ということで、この度は、項目ごとの基準点を設けておりませんでしたので、ガイドラインに従いまして総得点を表示するということになっておりました。監理室からのガイドラインにもありますとおり、例えば項目ごとに基準点があってそれを下回った場合には失格とするといった基準を設けておる場合には、項目ごとに点数を公表するということになっておりますけれども、今回につきましては、基準点としましては項目ごとには設けず、総合計点の2分の1以上を得点しておれば、失格としないという扱いにしておりますので、項目ごとの点数に基準を設けていないということで、この度はガイドラインに従って総得点のみを公表させていただいたということで御理解いただければと思います。

岡山明委員　私も411点って意味がよく分からないんですけど、審査員8名ということは、これ8名分を全部掛けられて、例えば60点であると、60点の8人で480点という点数が出てくるんですけど、そういう状況じゃないんですか。よく分からないんですけど、何をもって411点になっているのか。人数で割ってという平均点じゃないんですか。

長谷川知司委員長　7名の審査員が付けた点数の合計が411点ですかね。

岡山明委員 7人か8人っておっしゃったけど、その辺をお聞かせください。

河田総務課長 満点が500満点となっておりますので、そちらを基に計算をしております。

長谷川知司委員長 100点で500点というのがちょっと理解できていないんですけど、説明できますか。

田島総務課総務係主任 点数の付け方でございますけども、まず、審査員が7名おりまして、最高得点と最低得点の方の点数は除くという形で、5名分の100点満点ということで、合計500点が満点となっております。そのうち、最高得点が411点であったということでございます。

岡山明委員 今7人と言われたけど、審査は最初8人でスタートしていますよね。たまたまこの最後の日に、1名の方が欠席という状況で、8人の得点じゃなくて、最終的に来られた7人の得点で、そこを評価されたという形なんですか、そうすると。

河田総務課長 審査委員会では、この審査の項目や配点についても審議いただくということで、何回か会議を開く中で、8人の委員に参加いただいたと。最終的にプレゼンテーションを受けて審査をする段階で、7人の委員しか会場におりませんでしたので、その7人で評価をしたというところでございます。

前田浩司委員 今審査員という話がありまして、どんな方が審査員になられるのか教えていただけますか。

河田総務課長 審査員でございますけれども、市の総務部長、建設部長、企画部長、それから総務課長、人事課長、デジタル推進室長、子育て支援課長、建築住宅課長となっております。

長谷川知司委員長 内部ですね、じゃあ。（「内部です」と呼ぶ者あり）

笹木慶之委員 それでね、実は資料2の中で、購入しようとする備品が提示されています。これ、オフィス総合カタログというものからの引用がほとんどなんですが、この品物を指定したということなんですか。

河田総務課長 業者から、こちらの提案があつて、協議を重ねた結果、最終的にこういった製品を選定したというところでございます。

笹木慶之委員 そうすると、例えば、机なら机としたときに業者から提案があったものを誰がどのように決めたんですか。

奥田総務課課長補佐兼総務係長 提案につきましては、環境改善事業、当初の第2期工事という御説明を今までさせていただいておりました。こちらの設計の中で、面積に合う机のサイズ等を、もう事業者から設計図として頂いておりましたので、その設計図書をお渡しして、その面積、規格に合うものを、各会社から御提示いただくという形で提案していただきました。

笹木慶之委員 そうすると、同じ品物、これよということで限定しての見積りになったんですね。どうなんですか。

奥田総務課課長補佐兼総務係長 商品の限定はしておりませんが、商品の規格、サイズを指定して、プロポーザルを実施したという形になります。

笹木慶之委員 そうするとメーカーによって、かなり金額の差があるんじゃないですか。その辺はどのように見られましたか。

河田総務課長 確かにメーカーによって差がございます。その辺り、その製品

の機能性ですとか、庁舎の待合ロビーに適したものであるとかそういった内容についても御提案いただいた上で、一番提案が優れたものを採用するという形で評価をさせていただきました。

笹木慶之委員　そうすると、今プロポーザルの審査項目の中で、それはクリアできるということですか。

河田総務課長　企画提案の項目の中で業務の概要及び業務要件に則した提案となっているかという中で、評価をしてまいりました。

宮本政志副委員長　先ほど、プロポーザルに至った経緯はるる言われましたよね。少し気になったのが、今回このプロポーザルにした経緯で、この業務が市内の業者では恐らく無理だろうという判断の下とおっしゃったんですよ。ということは、今までにこういった業務というか、仕事というのは、過去に市内の業者でやったことがなかったということですか。

河田総務課長　これだけの大規模な整備、しかも、備品の購入だけではございませんで、全体的な庁舎内部での移転、こういった事業、私どもも初めてでございますので、やはり他の自治体の事例等も研究させていただく中で、最終的にその自治体が受注された企業がやはり大手メーカーであったというところがありますので、その辺りも参考にしながら検討してまいりました。

宮本政志副委員長　ということは、市内の業者に確認は取ってないということよね。

奥田総務課課長補佐兼総務係長　確認という作業はしておりませんが、このプロポーザルを公募するに当たりまして、市内事業者、市外事業者という区別を付けておりません。市内事業者でも応募いただける状況で、募集しておりますので、質問、提案がなかった時点で、なかったものという

ふうに考えております。

宮本政志副委員長　それなら、先ほどのおっしゃったプロポーザルに至った経緯というのは理解できるんですよ。それと、もう一つ、この大きな図面、非常に見やすい図面を今日御用意いただいているんですけど、これ1階の右側の真ん中が今の出入口なんですけど、出入口のところにソファが8個ありますよね。あるいは、真ん中の市民課とあるところには国民年金課と両方に椅子が前後ろで並んでいますよね。これ、市民の方がずっと座られたら、ここは椅子と椅子の間で、多分誰も通れなくなるし、それから、先ほどの入口の先のソファというのは、もし災害が起きて、どうって避難するときに、この辺りというのは、プロポーザルにおいて災害時の避難というのも考慮した上で提案されているのか。あるいは、平常時ならまだしも、そういった災害時の避難関係確保とかというのも審査項目にあったんですか。何か災害が起こったら非常に怖いなと思います。

河田総務課長　レイアウトにつきましては、災害時の対応といったことはまた庁舎の環境改善と別のところで、内装改修というところで検討してまいるところでございますので、直接的にはこの度のプロポーザルでは御提案等は頂いておりません。

岡山明委員　今ちょうど1階の図面なんですけど、入口のところに今まで各企業の品物とか、展示物があったと思うんです。あれは、この図面の中にありますか。

河田総務課長　各企業様の製品等のサンプルを設置しておるコーナーがございましたけれども、こちらのほうを検討する中で、中身が少し古くなっているものもございますし、収容しておりますケースそのものもやはり老朽化が進んでおります。これからは企業様のPRがより効果的にできるように、例えばこういった現物を置くような棚ではなくて、デジタルサ

イネージといったものも活用できないかなということで検討しているところでございます。

岡山明委員　そういうことで、今までの展示物はのけるということですね。

河田総務課長　やはりスペースの確保という観点もございますので、そういった方向で今検討しておるところでございます。

岡山明委員　もう一つ、ちょっとお聞きしたいんですけど、今回備品が物すごい入ってきてるんですけど、今の1階と2階にそれぞれ備品が相当あると思います。全て撤去するか、例えば、ある程度使えるものは交流センターに持っていくとか、そういう備品、使える可能性としてはなきにしもあらずという状況ですから、廃物利用というとおかしいけれど、その辺はどう考えているか、お聞きしたいんですけど。

河田総務課長　再利用できるものがあれば、使えるようにという御要望もございますけれども、やはり事実上、私どもが使っております備品は、大変古くて、今でも使用に耐えないものを無理に使っておるところもございます。大変残念でございますが、ほぼ使えない実情にあるというふうに御理解いただければと思います。

古豊和恵委員　ちょっとお尋ねしたいんですけど、1階の奥に子育て支援課というのがございます。場所が大分移動して、奥になっておりますけれど、そこに授乳室が設けてありますけれども、これはどういう仕様になっていて、利用される方が使い勝手がいいのかどうなのか、その辺をちょっとお尋ねできたらと思います。

奥田総務課課長補佐兼総務係長　ただいまの御質問の内容につきましては、今後実施する予定の内装改修工事の内容になってまいりますので、この場で備品でのお答えがちょっと難しいんですが、備品の一覧にもございま

すとおりに、ただいま市役所1階に市民の方から寄贈いただきましたキッズコーナーが1か所ございますが、子育て支援課のところにも1か所増やしまして、2か所に増やすという形で、待合スペースでお子様を待たせたまま行政サービスを受けていただくことができやすいようには検討しております。

古豊和恵委員 ありがとうございます。

伊場勇委員 議案第47号の議案書の裏に近未来型待合スペースとあって、この右側に図があるんですけど、頂いた資料とは違うんですね。その近未来型待合スペースというのは、1階はなくて2階に移したんですか。どの部分がそれに当たるのかというところをちょっと教えてください。

河田総務課長 こちらの資料でございますけれども、これはこの備品の導入をイメージしていただくために、業者から提案があった資料をそのまま掲載させていただいたものでございますので、これがそのまま実現されるというものでございませぬので、提案イメージということで、御認識いただければと思います。

伊場勇委員 でしたら、このA3の資料の1階の、例えば、エレベーターとエントランス階段の間のスペースとか、これは何かいろいろ使われるんですね。備品はまたこれからとか、そういったところで、これは別にこれからまだあるということなんですかね。

河田総務課長 これはあくまで現段階での配置案でございますので、今後また検討して、調整してまいります。

伊場勇委員 それと、キャビネットを相当数買われます。今の状態が、ねずみ色で、もうシールの跡があったりとかで、やっぱり見てくれが良くないですし、課によっては、入りきらない書類が山積みになっていて、もう

今の時代、ナンセンスですよ。なので、もちろんきれいな白いキャビネットが来て、見た目もすごく明るくなると思うんですけども、ペーパーレスとのバランスもしっかりとっていかなきゃいけないかなと思うんですよ。その辺はどういうふうに議論されているのかなと思って。

河田総務課長 おっしゃるとおりでございます、キャビネットを設置しますと、やはり潜在的な需要を引き出しますので、どんどん書類の量は増えていくというところが自然でございます。やはり文書の量の削減というのにも必要があると思いますので、この度、キャビネットを入れ替える中で文書量の削減についても、各課に指導してまいりたいと思っております。

伊場勇委員 今使っているキャビネットはもう基本的には廃棄ですか。それとも、まだ使えるところに移すとか、そういうことはないんですか。

河田総務課長 基本的に老朽的なもので使用に耐えかねるものがほとんどでございますので、再利用はなかなか難しいかなと思います。それでももし使用に耐えるものがございましたら、市の中で融通ということも考えていくのかなと思っておりますが、ほぼそういったものがないのかなと考えております。

宮本政志副委員長 購入するものとか、あるいはプロポーザルの中でSDGsとか、CO2削減とか言われていますよね。そういった材料がいかされていきますよという情報なんかは入っていますか。

河田総務課長 製品全てのというわけにはまいりませんが、グリーン購入に適用した製品については、やはりそういったマークが付いておるのは、カタログの中で確認しております。

笹木慶之委員 大変聞きにくいんですが、この1階と2階は大体イメージが湧

きましたが、3階というのは全く対象外なんですか。

河田総務課長 この度の備品購入に関しましては、3階は含まれておりません。

笹木慶之委員 この度のということですね。といいますのは、御存じと思いますが、選挙管理委員会のところ、議場の裏の通路に物がいっぱい置いてあるでしょ。あれは、やっぱりちょっと見苦しいですよ。だから、やっぱりああいったことも含めて、3階もしかるべき利用に資するように改善をされたらいいと思います。

河田総務課長 御覧になってそのとおりでございますけれども、やはり選挙管理委員会、選挙の物資を今たくさん廊下に置いておる状況でございます。こういった状況も改善してまいる必要があると思いますので、この度には含まれておりませんが、内装改修の中で検討してまいりたいと考えております。

長谷川知司委員長 最初に、このレイアウトです。プロポーザルの趣旨としてありますように、職員や来庁者の方の快適性とあります。それで、この度、様々課を変えていらっしゃいます。それらの目的というのは、どういう目的で提案があったか教えてください。

河田総務課長 やはりこの本庁舎のレイアウト、もう長らく変更していないというところでございます。来庁された方の動線ですとか、やはり業務の内容に合わせて、隣接した部署のほうがいいだろうというところもございます。そういった辺りを、昨年度まで庁内で検討した上で、こうしたレイアウトを検討しておったというところでございます。

長谷川知司委員長 これは、業者からの提案じゃなくて、市からある程度提案したということですか。

河田総務課長 具体的な部署の配置につきましては、市の内部で検討したものと
なっております。

長谷川知司委員長 そうしたとき、先ほど宮本副委員長も言われましたが、市
民課と国民年金課は、椅子が両側にあると普段でも通りにくい。車椅子、
つえをついた人、それから子育て支援課が奥にあって、ベビーカーがそ
こまで押して行けるかどうか、そういうことを配慮されているのかどう
か、ちょっと疑問があるんですが、そういうことはどうなんですか。

河田総務課長 こちらの図面は、まだ案の段階で仮置きをしたものでございま
すので、これからレイアウト調整していく中で、その辺りは十分に対応
してまいりたいと考えております。

田島総務課総務係主任 子育て支援課に関するところでは、少し工事の話
にもなっておりますが、西口にも新しくスロープを設けたり、そうい
ったところでベビーカーを持っていらっしゃる方も入りやすいような形
にはしたいと考えております。

長谷川知司委員長 私が思うには、現在の通路とカウンター的位置を変えない
で苦勞されていますが、カウンターを少し下げて、通路を広げるという
考えはなかったのかどうかですね。そうすることによって、車椅子や人
の離合も可能なんですが、そういうことは提案がなかったんですか。

田島総務課総務係主任 カウンターについても、1階は内装改修工事のほうで
改修を行う予定としておりまして、その際、位置についても検討して、
お客様がしっかり通りやすい形にしたいと考えます。

長谷川知司委員長 それと多目的トイレに皆さんが行くためにも、やはり通路
というのはある程度広くないと、車椅子、ベビーカーの人はやっぱり快
適に通れない、離合できないですからね、そういうことを考えていかれ

ると思います。それから、改修工事を今されていますし、今後ありますが、このような備品設置等したことで、手戻りはないと考えていらっしゃると思いますか。

河田総務課長 こういったところの手戻りがないようにということで、一体的な業務を発注するというのと、もちろん内装改修の工事における工程会議につきましても参加していただいて、業務を円滑に進めるように、仕様で求めています。

長谷川知司委員長 今レイアウトで、それぞれ課が変わっていますね。そうしたときに、照明あるいは弱電、弱電というのはパソコンとか様々な機器ですね、そういうもののレイアウトはどうなっていますか。それも考慮しているかどうか。

田島総務課総務係主任 こちらも工事のお話にはなってしまうけども、照明などの電気設備工事も内装改修工事に合わせて、一部行う予定としております。主には、廊下など共用部分が多いですけども、そういったところで、不便のないようにしていきたいとは考えております。

前田浩司委員 市民の方の利便性という話で、今回このような形という認識でおるんですけども、多分市民の方のお声も聞いていただいたの反映かと思うんです。市民の方が来られたときに、アンケートじゃないんですけども、一応各部署のものが書いてあって、どこに立ち寄ったというのを全部集計されて、やっぱり多数の声をレイアウトに落とし込まれていると思うので、引き続き、その辺も考慮していただきたいということで、よろしく願い申し上げます。

河田総務課長 頂きました内容も、しっかりと考慮して進めてまいりたいと思います。

古豊和恵委員 正面に入って、新しく多目的トイレが付いています。その横に休養室があって、ベッドが置いてあると思います。今までこちらに来たときに休養室があった記憶がないんですけど、やはり市民の方からの要望があって、こういうのができたんでしょうか。

河田総務課長 図面を見ていただいたところの休養室の記載でございますけれども、こちらは職員の具合が悪くなった場合の休養ということで設けるものでございます。

長谷川知司委員長 救急車が来るまでの間とか、そういうことも含めてですね。

古豊和恵委員 そうすると、この多目的トイレというのは、市民の方たちが利用できるんでしょうか。

河田総務課長 こちらの多目的のトイレにつきましては、市民の方、来庁者の方に御利用いただくものでございます。

長谷川知司委員長 ほかにはございませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、質疑を終わります。議案について、討論ございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）では、採決いたします。議案第47号物品の購入について、賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

長谷川知司委員長 全員賛成と認めます。以上で、議案第47号物品の購入については、可決すべきものと決しました。どうもお疲れ様でした。暫時休憩しましょう。

（執行部退室）

午前 10 時 55 分 休憩

午前 10 時 58 分 再開

長谷川知司委員長 休憩を解きまして委員会を再開いたします。審査内容 2、閉会中の調査事項についてです。お手元に閉会中の調査事項について、一覧がありますが、皆様方からこれについて加えるもの、落とすべきものがあれば、意見をお願いいたします。

笹木慶之委員 中身をずっとチェックを掛けてみましたが、LABV も入っておりますし、特にこれ以上のものは現状ではないと私は思っております。

長谷川知司委員長 ほかにはございませんか。（「ありません」と呼ぶ者あり）では、閉会中の調査事項については、この案のとおり決定するというところでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、以上で本日の総務文教常任委員会の審査事項は終了いたしました。これで、委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。

午前 11 時 散会

令和 4 年（2022 年）6 月 17 日

総務文教常任委員長 長谷川 知 司